



オリジナリティ豊かな  
ハイグレード分譲住宅

多くの人が人生の半分以上を過ごすと言われる場所——それが「家」。ただ、家族の在り方や過ごし方は人それぞれ、家族によっても時代によっても違う。《株式会社ひらぎの》は、そこで暮らす人々それぞれにフォーカスし、特別な空間を創出。「いい家ひと筋」というスローガンの下、一人一人の人生のパートナーとなるかけがえのない家づくりに挑戦し続けている。

山陰地域で2578棟の施工実績を誇る《ひらぎの》。目指すのは、家づくりだけでなく、快適な暮らしのトータルプロデュースだ。プロの実力集団が顧客の想いをチームで形に上げていく「注文住宅」、土地や街並みにあったプランニングでオリジナリティあふれる空間を創造する「分譲住宅」、利便性が高く、快適な住環境を提供する「分譲宅地」、新たな価値をプラスして、暮らしをグレードアップさせる「リフォーム」、自然と共生した街をデザインする企画——の5事業を柱に、顧客ニーズに合った住環境を創り出している。近年特に力を入れているのが、分譲住宅ブランド「Lisvivo」。専属の設計士とコーディネーターが

隅々までこだわって生み出したモデルハウス級のハイグレード住宅だ。「当社が蓄積してきた経験と技術を生かし、一軒一軒クリエイティブした家。素材のコストと品質のバランスにこだわり、耐震耐熱などに優れた高性能住宅でもありません」と胸を張る平儀野健一社長。建物はもちろんのこと、庭・外構など細部まで工夫を凝らした設えは、高い人気を誇り、着工数を伸ばしている。快適な暮らしには、家だけでなく周辺環境も大きな影響を持つ。不動産事業にも力を入れ、スーパーや教育・医療機関などにアクセスが良く、安心できる土地を提案。20区画未満の小規模宅地造成から100区画以上の大型タウンまで、理想的な暮らしができる。街をデザインできるのも、会社の大きな強みだ。高層マンションや福祉施設、病院など大規模建設も数多く実現しており、「住」に関わるさまざまな地域ニーズに対応している。創業から40年を超えた2020年、地域への恩返しを込めて松江市内に学童保育併設型の認可保育所を設置した。平儀野社長は、「地域のより良い暮らしをサポートするのが私たちの理念。今後も「いい家ひと筋」に情熱を注ぎたい」と抱負を語る。

株式会社 ひらぎの

「いい家ひと筋」に  
暮らしをトータルプロデュース

47  
LEADING COMPANY





## 株式会社 ひらぎの

### 事業内容

注文住宅、分譲住宅、リフォーム（増改築）、マンション・アパート、サービス付高齢者向け住宅、公共工事（建築、土木）、土木工事（宅地造成工事等）、エクステリア（外構工事）、分譲宅地、土地買取り、中古住宅販売、住宅買取り、仲介業務、建物の有効活用に関する企画、調査、設計

創 業 昭和52（1977）年1月1日  
 代表者 代表取締役社長 平儀野 健一  
 社員数 85名（男42名 女43名）  
 本 社 島根県松江市学園1-16-6  
 電 話 0852-24-3882

### 採用エリア（勤務地）

松江市、出雲市、米子市、鳥取市

### 採用担当者からあなたへ

「いい家 ひと筋」をモットーにお客様に満足していただける家づくりを目指し、2027年に50周年を迎えます。若い社員もベテラン社員も創業当時と変わらぬ思いでお客様に対応させていただいています。このような仲間と一緒に仕事をしませんか？



経営企画室  
岩崎 真理さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0852-24-3882

採用直通 E-mail

keieikikaku@hiragino.com

公式サイトはこちら



求人サイトはこちら



### 職場全体で 資格取得支援

社員のスキルアップを支援するため、建築士やインテリアコーディネーター、宅地建物取引士など業務に大きく関わる資格に関しては、合格時に最大50万円もの奨励金を支給。試験前には休暇を取ることもできるなど、挑戦しやすい職場環境が整えられている。



### 育児支援で 仕事と両立

育児休業は、子どもが2歳になるまで取得できる。法定より一年長く、複数回取得しながら継続して働く社員も少なくない。また、子どもが病気やけがの際の看護休暇は、子が2人以上の場合は年間14日間取得でき、共働き世帯が多い中、男性社員の取得も増えている。



### 地域貢献で 保育園を開設

地域貢献の一環として、ひらぎのが100%出資で造ったのが、《ひらぎの保育園株式会社》。地域住民に開かれた認可保育所で、小学6年生までを対象とした学童保育もやっている。ゆとりあるスタッフ数や英語リトミックの実施などで、地元でも人気の園だ。



### お客様と一緒にゼロから家を造り上げる

「多くの人にとって家は一生に一度の買い物。売って終わりではなく、引き渡しの時がお客様との本当のお付き合いのスタートだと考えています」。定期的に施主宅を訪ね、引き渡し後も時にはプライベートで交流することもあるという。「アフターフォローの意味もありますが、お客様の顔を見ると、私自身元気をいただくことも多いんです。お子さまが大きくなったりしてご家族の変化を目の当たりにできるのもうれしいです」。顧客と築いた強い信頼関係は実績にもつながっており、現在は多くの紹介があるという。

昨年支店長に昇進した。トップ営業パーソンとして奮闘しつつ、13人のスタッフがそれぞれ能力を発揮できるようマネジメントにも注力している。

23歳の時に、自宅を新築した時の感動がきっかけで、住宅営業を選んだ中田さん。「想像以上の喜びを他の人にも伝えたいというのが原動力になっています」。家を建てるということは、家族の暮らしをつくり、人生に寄り添うことにもつながる。「ゼロから一緒に家を造り上げてきたお客様と、スタッフ丸となって長くお付き合いさせていただく。営業職として一番の喜びです」



米子支店 支店長  
中田 斗史輝さん(29)  
2018年入社



### 設計と子育ての両立でメリハリある毎日

12年前、第一子出産時に一度退職。「育児と仕事を両立できるか不安だったし、当時は結婚や出産を機に退職する人が多かったんです」。しかし、その後、働きたい気持ちが高まり、一年後に再就職した。第二・三子の出産時には育児休業を取得し、大好きな設計の仕事が続けてきた。「第三子はまだ保育園児。帰宅後はハードな時間が押し寄せますが、私にとっては仕事をしている方がメリハリがあって合っているみたいです」と笑う。

プランアシスタントなどを経て、現在は分譲住宅の図面を担当。設計士やインテリアコーディネー

ターと打ち合わせを行ったのち、設計士のラフをもとにCADで図面を作っていく。平面図や立面図に加え、各部屋の展開図にパースと、多い時には一軒の家で十数枚に及ぶことも。「描くのが好きなんじゃない、手がけた図面が実際に建物として形になるのはうれしいですね」

課内ではチューターとして後輩の育成にも力を入れている。「私の意見を押し付けず、本人の意志を大切にしています」。母親経験が職場でも活かされている。



本社設計部 分譲住宅課  
西尾 知佳さん(39)  
2012年入社



### 子どもたちの成長を間近で見られる喜び

担任しているのは、まだ言葉が話せない0歳児。意思の疎通が難しい中、保育士には一人一人の個性や性格を見極めながら対応していくことが求められる。「泣き声や指差し、表情などから意思を読み取るのは本当に難しい。お友達同士でのぶつかり合いをどう仲立ちするかという点も日々考えさせられています」と板持さん。一方で、目覚ましい成長を見せるのも0歳児の特徴。「昨日はできなかったことができるようになるなど、毎日が新しい発見に出合えるのは何より楽しいです」

元々、年が離れた従兄妹や近所の子どもの面

倒を見るのが好きで、中学生の時の職場体験でも地元の保育園へ。「わずかなすき間時間でも、手遊びをするなどして子どもたちを楽しませている保育士さんがとても格好良く、あこがれました」。小さい時はピアノ、中学高校では吹奏楽部でクラリネットを演奏していた板持さんにとって、リトミックを取り入れた当園の保育に関心を持ち、勤め先を選んだ。

「受け持っている子どもたちが話せるようになった時、帰り際に『また来たい』と言ってくれるような場所でありたいです」



ひらぎの保育園 保育士  
板持 優花さん(21)  
2023年入社

